

CASBEE-広島（2010年ver.1）
(仮称)BELISTA皆実町

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質							3.4		
Q1 室内環境				0.40			3.9		
1 音環境			2.6	0.15	3.1	1.00	3.0		
1.1 騒音			3.0	0.40	3.0	0.40			
1	暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
				-		-			
1.2 遮音			2.0	0.40	4.3	0.40			
1	開口部遮音性能	A-037～039 防音型と遮音性能T2	2.0	1.00	5.0	0.30			
2	界壁遮音性能	S-25 R180t以上 評価マニュアルより		-	4.0	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	特-002 Lr-45以上		-	4.0	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50以上 ボイドスラブ計算書より		-	4.0	0.20			
1.3 吸音			3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境			1.7	0.35	5.0	1.00	4.8		
2.1 室温制御			1.7	0.50	5.0	1.00			
1	室温設定		1.0	0.63	-	-			
				-		-			
3	外皮性能	熱損失係数2.69W/(㎡・K) 日射取得係数0.05(㎡/㎡)	3.0	0.38	5.0	1.00			
4	ゾーン別制御性			-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
2.2 湿度制御			3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式			1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境			3.0	0.25	3.4	1.00	3.4		
3.1 屋光利用			4.2	0.30	2.9	0.50			
1	屋光率	A-033,035 計算書 評価マニュアル参照	5.0	0.60	4.0	0.50			
2	方位別開口			-		0.30			
3	屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策			2.0	0.30	4.0	0.50			
				-		-			
2	屋光制御	A-020,21 住居部分 カーテンレール・BOX+庇あり	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度			3.0	0.15	-	-			
1	照度		3.0	1.00	-	-			
				-		-			
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境			4.0	0.25	3.6	1.00	3.6		
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63			
1	化学汚染物質	特-001,A-008 室内全てF☆☆☆☆	4.0	1.00	4.0	1.00			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
4.2 換気			4.0	0.40	3.0	0.38			
1	換気量	換気計算書より 5倍以上	5.0	0.50	3.0	0.33			
2	自然換気性能			-	3.0	0.33			
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
				-		-			
4.3 運用管理				-		-			
1	CO ₂ の監視			-		-			
2	喫煙の制御			-		-			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.3		
1 機能性			3.6	0.40	3.6	1.00	3.6		
1.1 機能性・使いやすさ			4.0	0.60	4.0	0.60			
1	広さ・収納性			-		-			
2	高度情報通信設備対応	E-32 LANケーブル5は1000BASE対応(資料添付)		-	4.0	1.00			
3	バリアフリー計画	広島県福祉まちづくり条例の適用施設事前協議書準備	4.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性			3.0	0.40	3.0	0.40			
1	広さ感・景観			-	3.0	0.50			
2	リフレッシュスペース			-		-			
3	内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理				-		-			
1	維持管理に配慮した設計			-		-			
2	維持管理用機能の確保			-		-			
2 耐用性・信頼性			3.4	0.31		-	3.4		
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-			
1	耐震性		3.0	0.80		-			
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数			4.1	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数	A-001 特記事項「3-1」劣化対策等級3	5.0	0.23		-			
2	外壁仕上材の補修必要間隔	A-008 マニュアル巻末補助資料より 60年	5.0	0.23		-			
3	主要内装仕上材の更新必要間隔		2.0	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	M-02 建築設備の耐久性向上技術より	5.0	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

	2.3 信頼性				-		-	
	2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	E-32 止水対策あり LANの設備は通信手段の多様化と評価	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり				-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		A-010,014 特-001 植込み、テラス、バルコニー等を広くとっている	4.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制		熱損失、熱取得の低減につとめている	5.0	0.40		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		M-06 エコキュート設置	5.0	0.40		-	-	5.0
4 効率的運用				-		-	-	-
4.1 モニタリング				-		-	-	
4.2 運用管理体制				-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水		節水器具の設置	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00		-	-	
2		雑排水再利システム導入の有無		-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		S=11 杭＝高炉セメント	4.0	0.20		-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		ウオシュレット便器CES9411エコマーク認定番号06 116 005	3.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	-	
1		消火剤	4.0	0.33		-	-	
2		断熱材	5.0	0.33		-	-	
3		冷媒	3.0	0.33		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	3.9
1 地球温暖化への配慮		LCCO2が排出されにくい設計になっている	4.9	0.33		-	-	4.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		M-04,05 燃焼機器不使用	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		-	-	
1		雨水排水負荷低減	-	-		-	-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33		-	-	
3		交通負荷抑制	4.0	0.33		-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1		騒音	3.0	1.00		-	-	
2		振動	-	-		-	-	
3		悪臭	-	-		-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1		風害の抑制	3.0	0.70		-	-	
2		日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70		-	-	
2		昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-	